



コンパス住吉台

Tel:中学校 090-9148-1396 Tel:小学校 070-1287-8026

住吉台中学校区
学校支援地域本部だより
令和5年度版

NO. 5

2023年12月13日発行



住吉台文化祭・地域の方の作品展・中学校作品展



11月11日、12日の二日間、コロナ禍・コミセンの大規模改修のため見送られてきた住吉台文化祭「作品展」が4年ぶりに開催されました。会場のコミセンホールには開催を待ちわびた地域の方々の作品と共に、小学生・中学生の作品も展示され、訪れた方々は熱心に鑑賞していました。



11月13日～17日まで、文化祭に出品された地域の方々の作品の一部を、中学校コモンホールでも展示しました。この作品展も4年ぶりに実施され、今回で11回目を迎えました。手の込んだ素晴らしい作品をご提供くださった出品者の皆様、毎回ご協力いただいている連合町内会文化厚生委員会の皆様、ありがとうございました。



11月20日～28日まで、中学校作品展が小学校職員室前にて開催されました。中学生のアクリル画・切り絵等19点が展示され、小学生の皆さんは興味津々。児童からは「中学生すごいね!」「中学生になったら美術部に入りたい」等の感想が寄せられました。



内藤以貫の墓清掃・供養祭



10月21日、「内藤以貫の墓管理保存会」による「供養祭」に、小学生15名、中学生2名がボランティアとして参加しました。参加者皆で、砂利運び、参道・お墓周辺の清掃、供養祭を行いました。集会所では6年生から、総合の授業でお世話になった保存会の方々へ授業の感想をお渡ししました。食事会では「いかんうどん」をご馳走になり、活動の感想を述べ合うなど、親睦を深めることができました。





住吉台学校運営協議会



11月27日、第4回住吉台学校運営協議会が行われました。今回は4年ぶりに行われた住吉台地域合同防災訓練の内容を振り返り、今後、学校と地域が連携することで、どのような防災教育を行うことができるかについての熟議が行われました。また、日々お世話になっている学校ボランティア防犯巡視員の方々の募集方法などについても意見が出されました。



学校運営協議会は、以前の学校評価委員会と異なり、学校と地域が一体となってよりよい学校づくりに取り組み、『地域とともに歩む学校』を進めていく仕組みです。この日は、小学校の授業参観も行われ、体育の授業やクロームブックを使った授業の様子など、委員の方々も興味深げに参観されていました。



小学校



◆ 5年生 脱穀体験 ◆



10月13日、5年生が住吉田んぼで収穫した稲の脱穀体験をしました。萱場地区の奥山壽さんと奥山照夫さんのご協力を得て足踏み式脱穀機で行いました。また、今年は歴史民俗資料館の鶴谷館長のご協力も得て、脱穀した後の粃を藁やゴミと分ける明治時代の唐箕（とうみ）をお借りすることができました。さらに奥山照夫さんからは昭和初期の唐箕を小学校に寄贈していただきました。

自分の足で漕いで脱穀をする貴重な体験に加え、時代の異なる唐箕を比較することで、その大きさや作りの違いに農業の進歩を学ぶこともできました。脱穀作業を終え、自分たちの田んぼでできた粃の一粒一粒を子どもたちは手に取って見ていました。

◆ 3年生とオオムラサキの幼虫 ◆

ここ数年の異常気象の影響を受け、今年度、住吉台小学校にオオムラサキの姿はありませんでした。地域のハウスにもわずかなオオムラサキがいるだけでした。例年であれば、学校のハウスでオオムラサキの幼虫～成虫～タマゴを観察できるのですが、今年は地域のハウスで一度観察しただけ。3年生になんとかオオムラサキを見せたいという思いが届き、登米市の東郷地区の方が、幼虫を譲ってくださることになりました。

11月15日オオムラサキ会の方と森教頭先生が東郷地区に出向き、幼虫7匹を譲り受けてきてくださいました。

翌16日、3年生は待望の幼虫観察。落ち葉をめくりながら、幼虫を探し『顔がかわいい』と目をキラキラさせる子もいました。

12月4日には、オオムラサキ会の大塚会長と笹森さんをお招きして越冬幼虫のことについて教えていただきました。数少ない幼虫を来春まで保護するために、素焼きの植木鉢に移し、3年生の代表が落ち葉をかけました。来年こそは、またオオムラサキの舞う住吉台小学校になってほしいものです。

